

事務事業調書

平成27年度

事業No	471	課	維持管理課	係	道水路管理係	起案者	河野達矢
						決裁者	山下孝
事務事業名	道路管理事務				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 1 道路 2 道路の維持管理 1 維持管理			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		40-5-5			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策					
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの				
根拠法令	有	道路法第8条、第10条、第16条、第24条、第32条、第39条							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		申請者等が			~になる		事務処理に要する時間に対して満足する	
事務事業の内容	道路を維持管理し、占用申請等に対して審査し許可するものです。								
改善・対策の履歴	平成18年度から境界立会いデータを整備し、検索時間を短縮する。 平成20年度から狭あい道路拡幅整備事業を推進する。 平成21年度から窓口端末で境界立会いデータ閲覧提供を開始する。 平成24年度から望遠郷HPにおいて市道路線認定情報サービスを開始する。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	44,401	64,318	59,697	59,661	62,874
財源計	13,468	33,385	29,646	29,610	32,445
財源の内訳	国庫支出金	0	0	2,050	4,500
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	27	34	27
	一般財源	13,468	33,385	27,526	27,918
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	30,933 (4.91)	30,933 (4.91)	30,051 (4.77)	30,051 (4.77)	30,429 (4.83)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	道路占用許可	見込	2,300.00	2,300.00	2,300.00	2,300.00
			実績	2,445.00	2,959.00	2,595.00	
	指標名 (単位)	許可件数(件)	活動の総事業費 (千円)	7,875	7,875	7,875	
			活動にかかるコスト (千円)	3.22	2.66	3.03	
活動2	活動名 (活動内容)	道路工事承認	見込	130.00	130.00	130.00	130.00
			実績	133.00	148.00	140.00	
	指標名 (単位)	承認件数(件)	活動の総事業費 (千円)	2,079	2,079	2,079	
			活動にかかるコスト (千円)	15.63	14.05	14.85	
活動3	活動名 (活動内容)	道路境界立会い	見込	300.00	300.00	350.00	350.00
			実績	259.00	539.00	461.00	
	指標名 (単位)	立会い件数(件)	活動の総事業費 (千円)	4,095	4,095	4,095	
			活動にかかるコスト (千円)	15.81	7.60	8.88	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果
成果

6 各活動にかかるコストと成果の分析
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト
成果

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
境界立会い資料の閲覧及び提供が早くできるように、迅速なデータ化を図ります。

8 方向性
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続
境界立会い資料をデータ化し、閲覧及び提供できるように運用します。また、狭あい道路拡幅整備事業を継続して市民へPRし、事業推進に努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	473	課	維持管理課	係	道水路管理係	起案者	石上邦洋
						決裁者	山下孝
事務事業名	水路管理事務				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 2 河川 1 河川 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		40-5-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	安城市法定外公共物の管理に関する条例								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		申請者等が				~になる		事務処理に要する時間に対して満足する	
事務事業の内容	水路の占用申請等について審査し許可するものです。									
改善・対策の履歴	境界立会いデータを整備し、検索時間を短縮します。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,198	9,198	11,395	10,495	11,545
財源計	0	0	1,000	100	1,150
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	1,000	100	1,150
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	9,198 (1.46)	9,198 (1.46)	10,395 (1.65)	10,395 (1.65)	10,395 (1.65)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	水路占用許可	見込	200.00	200.00	200.00	200.00
			実績	213.00	194.00	234.00	
	指標名 (単位)	許可件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,008	1,008	1,071	
			活動にかかるコスト (千円)	4.73	5.20	4.58	
活動2	活動名 (活動内容)	水路工事承認	見込	30.00	30.00	30.00	30.00
			実績	40.00	10.00	44.00	
	指標名 (単位)	承認件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,323	1,323	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	33.08	132.30	28.64	
活動3	活動名 (活動内容)	水路境界立会い	見込	150.00	150.00	150.00	0.00
			実績	230.00	188.00	185.00	
	指標名 (単位)	立会い件数(件)	活動の総事業費 (千円)	3,150	3,150	4,411	
			活動にかかるコスト (千円)	13.70	16.76	23.84	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果
成果

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	
成果	

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
境界立会い資料の閲覧及び提供が早くできるように、迅速なデータ化を図ります。

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	データ化された境界立会い資料を閲覧及び提供できるように運用します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	477	課	維持管理課	係	維持係	起案者	杉浦良二
						決裁者	山下孝
事務事業名	道路維持修繕直接施工事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 1 道路 2 道路の維持管理 1 維持管理				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		40-5-5	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	道路利用者が				~になる	いつでも安全で安心して通行できるようになる。	
事務事業の内容	道路の利用者が、いつでも安全に安心して通行できるよう、道路を維持管理する作業を直営で行うものです。							
改善・対策の履歴	現業職員による直営作業は迅速に施工できるため、今後も道路パトロールを定期的の実施し、適切な道路管理を行います。また、年1度夜間の照明灯点灯状況パトロールも実施し施設の異常発見に努めます。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	45,375	44,745	41,266	40,660	44,574
財源計	2,724	2,094	3,151	2,545	6,459
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,724	2,094	3,151	2,545
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	42,651 (6.77)	42,651 (6.77)	38,115 (6.05)	38,115 (6.05)	38,115 (6.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	側溝浚渫作業	見込	97.00	113.00	138.00	112.00
			実績	113.00	138.00	112.00	
	指標名 (単位)	浚渫箇所(箇所)	活動の総事業費(千円)	7,434	8,568	7,686	
			活動にかかるコスト(千円)	65.79	62.09	68.63	
活動2	活動名 (活動内容)	路肩草刈作業	見込	164.00	116.00	80.00	59.00
			実績	116.00	80.00	59.00	
	指標名 (単位)	草刈箇所(箇所)	活動の総事業費(千円)	9,135	6,300	5,670	
			活動にかかるコスト(千円)	78.75	78.75	96.10	
活動3	活動名 (活動内容)	交通安全施設保守点検	見込	1,848.00	1,878.00	1,811.00	1,754.00
			実績	1,878.00	1,811.00	1,754.00	
	指標名 (単位)	保守点検箇所(箇所)	活動の総事業費(千円)	11,970	11,970	10,710	
			活動にかかるコスト(千円)	6.37	6.61	6.11	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
	道路瑕疵事故の件数(件)			実績	1.00	1.00	3.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
	道路施設に対する苦情件数/ 平成20年度から情報提供・要望の達成割合(件・%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
成果2				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	100.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	舗装及び道路施設修繕作業等では迅速に作業を行い、道路利用者に対して安全を提供することができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	現業職員が直接作業をするということで、早期に融通の利いたきめ細かな対応ができ、工事発注と比較し諸経費が掛からないため、経費も抑えることができました。
成果	広報で道路の穴凹等の情報を求めたことから、市民より多くの情報が寄せられました。市民に道路等への関心が高まったため、より細部にわたる意見をいただきました。道路瑕疵事故の件数は減少傾向にありますが皆無にはなっていませんので、パトロールを充実させるなど道路の適切な管理を行い事故の更なる減少に努めます。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
現業職員による直営作業は迅速に施工できるため、今後も道路パトロールを定期的の実施し、適切な道路管理を行います。また、年1度夜間の照明灯点灯状況パトロールも実施し施設の異常発見に努めます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	工事として発注すると、設計～契約までに多くの日数を要するが、直営施工ではタイムリーに施工できるため今後もこの体制を維持・継続します。